

政策等の評価の実施状況及び評価結果の政策等への反映状況

Ⅰ 政策等の評価の種類

○事業評価（事後評価）

Ⅱ 実施状況

１ 事業評価（事後評価）の対象

○次の各号のいずれかに該当する事業を対象として実施する。ただし、一及び二については、目標設定の対象外事業及び事業化を直接目的としない調整事業を除く。

一 大規模事業

事業費が１０億円以上の施設整備事業で、事業が終了した日から２年又は６年を経過した日の属する年度が平成２８年度である事業

二 ソフト事業

総事業費が１千万円以上で、平成２７年度に終了したもの

２ 事業評価（事後評価）の実施時期

○終了事業所管課長の評価 平成２８年１０月

３ 事業評価（事後評価）に用いたデータ

○住民満足度の状況

○事業の効果を把握するための手法及び成果の状況

４ 事業評価（事後評価）に用いた観点

○ 有効性	○ 住民満足度等の状況	A：有効性は高い
	○ 事業目標の達成状況	B：有効性はある C：有効性は低い
○ 効率性	○ 事業の経済性の妥当性	A：効率性は高い
		B：効率性はある C：効率性は低い

Ⅲ 事業評価（事後評価）結果の概要及び評価結果の政策等への反映状況

１．評価結果の概要

○大規模及びソフト事業 評価件数：４件

A	（妥当性が高い）	全ての観点の評価結果が「A」判定	３件
B	（概ね妥当である）	「A」、「C」以外	１件
C	（妥当性が低い）	全ての観点の評価結果が「C」判定	０件

詳細は、別紙一覧表及び各評価調書を参照

２．政策等への反映状況

事業評価においては、反映状況を評価調書に記載することとしているため、各評価調書を参照

平成28年度事業評価（事後評価）結果一覧表

	事業名	事後評価 区分	当初計画 事業費 (千円)	最終 事業費 (千円)	開始 年度	終了 年度	部局名	課室名	有効 性	効率 性	総合 評価
1	大曲工業高等学校実習棟・体育館改築事業	大規模事業 (1年経過)	2,409,239	2,408,898	2011	2014	教育委員会	教育庁総務課 施設整備室	B	B	B
2	こども総合支援エリア特別支援学校建設事業	大規模事業 (5年経過)	4,887,274	4,794,145	2006	2010	教育委員会	教育庁総務課 施設整備室	A	A	A
3	小・中連携実践研究モデル事業	ソフト事業	28,002	25,580	2014	2015	教育委員会	義務教育課	A	A	A
4	あきたリフレッシュ学園事業	ソフト事業	60,817	59,536	2008	2015	教育委員会	生涯学習課	A	A	A